

2019年8月17日～2019年8月23日

2019年8月27日

先週の回顧

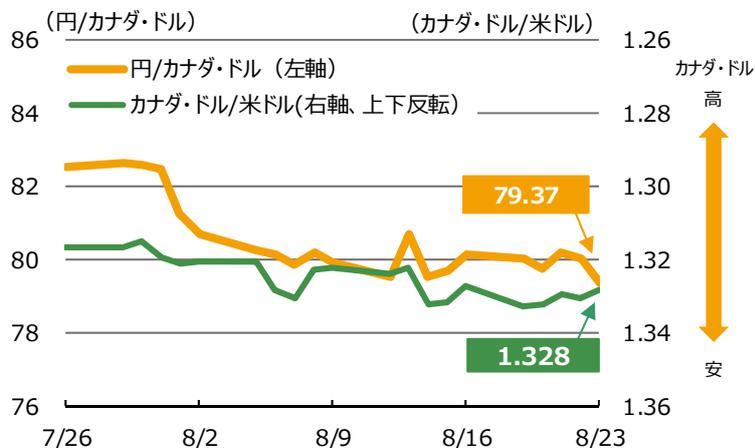
カナダ・ドルは、対円で下落しました。また、カナダ5年国債利回りは横ばいになりました。

カナダの金利は良好な経済指標や米債利回りが上昇したことを背景に週後半までは上昇したものの、米中による関税の応酬を受け、貿易戦争懸念が強まったことから、上昇幅を縮小しました。また、原油価格の下落などを背景にカナダ・ドルは対円で下落しました。

経済指標ではCPI（消費者物価指数）、小売売上高などが発表になっており、市場予想を上回る強い結果になりました。

カナダ・ドル 為替推移

(2019年7月26日～2019年8月23日)



※四捨五入の関係で数値とグラフの目盛りが一致しない場合があります。

(出所) Bloomberg等より大和投資信託作成

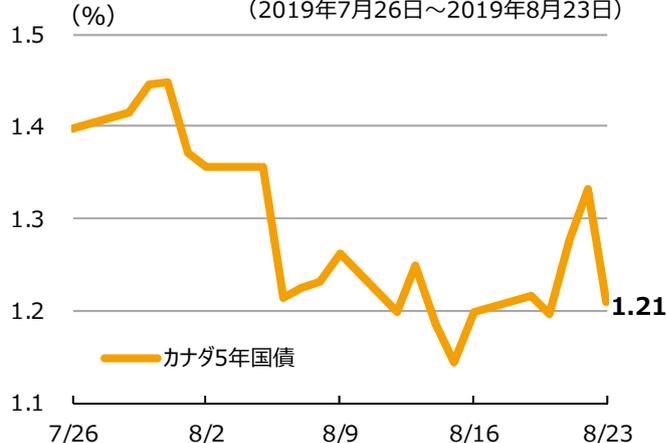
今週の見通し

今週、カナダではGDP（国内総生産）の発表が予定されています。カナダの堅調なファンダメンタルズが確認出来る結果になれば、カナダの通貨、金利の上昇圧力になることが考えられます。米国でもGDPの発表が予定されています。

カナダは足元、良好な経済指標が散見されており、カナダ固有の要因ではポジティブな材料が多く出ています。しかし、米中の貿易交渉の動向に大きく影響されていることから、今週も外部環境に振らされる展開が想定されます。

カナダ 金利推移

(2019年7月26日～2019年8月23日)



(出所) Bloomberg等より大和投資信託作成

当資料のお取扱いにおけるご注意

- 当資料は投資判断の参考となる情報提供を目的として大和投資信託が作成したものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書（交付目論見書）」の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。
- 当資料は信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。記載内容は資料作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。また、記載する指数・統計資料等の知的所有権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。